調達管理番号・案件名
26a00716_ジブチ国オボック港港湾開発に係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式ーランプサム型））

質問と回答は以下のとおりです。

2026年10月9日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	0	安全対策	外務省による海外安全情報では、計画地周辺は危険レベル1となっておりますが、中東情勢問題からスエズ運河の出口となる計画地付近の危険度など他に情報はありますか。また、舗装されていない道路では、地雷などの危険性もありますが、計画地周辺は問題ないでしょうか。	現在のところ計画地付近での危険度に影響があるような情報はありません。地雷についての調査は実施されておりません。
2	0	貴機構からの公式書簡（レター）発出範囲	主要協議先であるインフラ・設備省海事局、ジブチ沿岸警備隊（DCG）、オボック県庁等への表敬・面談アポイントについて、貴機構ジブチ事務所から事前レターや発出サポートを得られる範囲を教えて下さい。	レターの案文を作成いただき事務所に共有いただくことで、事務所からレターを発出することは可能です。
3	0	現地安全管理・移動手段（ロジスティクス）の制約条件	オボック州・オボック港周辺の治安情勢（外務省危険情報等）を踏まえ、首都ジブチ市からオボックへの移動（陸路移動 vs タジュラ湾定期フェリー等による海路移動）に関する貴機構の安全管理上の推奨・制限事項があれば教えて下さい。	陸路での移動の場合、日没後の都市間移動は禁止としています。海路での都市間移動の場合、海事局が運航しているフェリーの利用を推奨します。
4	12	調査方針及び現地調査項目の策定	1. 別紙2 「P12　準備作業　調査方針及び現地調査項目の脚注」と「P17 表　技術提案を求める内容」1の記載内容の冒頭部分の確認について 「オボック港の将来構想、」と「オボック港の将来構想を踏まえ、」と異なりますが、「オボック港の将来構想を踏まえ、」を正と考えてよろしいでしょうか。	はい、「オボック港の将来構想を踏まえ、」を正としていただくことで構いません。
5	12	第2章 特記仕様書 第3条（4）、第6条 表項目2 自然条件調査	自然条件調査として、再委託による土質調査（ボーリング調査、室内土質試験）3か所が示されておりますが、地盤の状況を把握する目的に照らし、貴機構とご協議の上、ボーリング調査以外の方法（併用を含む）により地盤調査を実施することは可能でしょうか。	協議の上、変更することは可能です。ご提案をお待ちしております。

6	12	第4条 調査の内容【準備作業（2026 年11 月）】	現地渡航前に作成するIC/R（仏文）および質問票の提出方法について、貴機構ジブチ事務所経由で事前送付・配布してもらえるのでしょうか。	ジブチ事務所で事前送付いたします。宛先をご指定ください。
7	13	第2章 特記仕様書 第4条【現地調査】（1）	第4条では岸壁諸元（延長、幅員、水深、天端高等）の確認が求められておりますが、測量に関する指示及び再委託の項目は示されておりません。本調査では測量の実施は求められておらず、既存資料及び現地での確認により検討するとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
8	13	第2章 特記仕様書 第4条【現地調査】（1）	オボック港周辺のジブチ海軍の港湾施設について、現地調査において立入り・確認を行うことは可能でしょうか。可能な場合、必要な許可の取得は貴機構又は先方実施機関を通じて行うとの理解でよろしいでしょうか。	可能かどうか確約はできませんが、先方実施機関を通じて許可申請を行うことを想定しております。
9	15	第2章 第6条 再委託	再委託は、「水中環境調査（1回）」と「土質調査（3ヶ所）」となっていますが、深浅測量、陸上地形測量、水質調査は必要ないとの認識でしょうか。	今回の調査では必要ありません。
10	15	第2章 特記仕様書 第6条 2	定額計上の対象として想定されているボーリング調査3か所について、海上と陸上の内訳など、想定されている調査地点の考え方があればご教示ください。	自然条件環境調査におけるボーリング調査の想定地点おきましては、DCG前線施設及びフェリーターミナルに係る港湾施設配置計画の比較・評価手法（提案を求める内容4）により異なることから、具体的な実施内容についてはプロポーザルでご提案いただければと考えております。 なお、特記仕様書で提示した内容は、タジュラ湾海上輸送能力強化計画準備調査を基に想定する数量を定額計上しました。

11	15	自然条件調査	特記仕様書では、2026年11月に準備作業、2026年12月～2027年1月頃に1回の現地調査、2027年2月に分析、最終報告書作成を行う工程が想定されています。一方、現地調査にはボーリング3か所及び室内土質試験が含まれており、現地再委託先の選定、契約、機材調達、関係機関からの許認可取得、現地調査、室内試験、結果の分析まで一定の期間を要することが想定されます。現地事情や許認可手続等により自然条件調査の実施又は試験結果の取得が遅延し、2027年2月までに十分な分析を完了することが困難となった場合、契約履行期間の延長又は工程の変更について協議することは可能でしょうか。	可能です。
12	15	自然条件調査	自然条件調査として3か所のボーリング調査及び室内土質試験が指定されていますが、想定されているボーリング深度、陸上／海上の別、標準貫入試験等の原位置試験及び室内試験項目について、現時点で想定されている仕様があればご教示ください。海上ボーリングを含む場合、作業船・台船等の確保を含め、定額計上額の算定に用いた想定条件をご教示ください。	自然条件環境調査におけるボーリング調査の想定地点おきましては、DCG前線施設及びフェリーターミナルに係る港湾施設配置計画の比較・評価手法(提案を求める内容4)により異なることから、具体的な実施内容についてはプロポーザルでご提案いただければと考えております。 なお、特記仕様書で提示した内容は、タジュラ湾海上輸送能力強化計画準備調査を基に想定する数量を定額計上しました。
13	16	1. 技術提案書作成に係る要件 (3)業務従事予定者の経験、能力	配付資料の案件概要表p.4では、副業務主任を想定されていますが、公示された「入札説明書」のとおり、業務管理グループ(副業務主任)は想定していないということでしょうか。	ご理解の通りです。
14	19	対象国の便宜供与	現地調査はジブチ市内とオボック州の2か所で行うことになりますが、P19　第3章　(6)対象国の便宜供与について、によりますと、執務スペース、家具、事務機器(コピー機等)は無とのことです。 ジブチ市内調査時等は、貴ジブチ支所の会議室やコピー機をお借りすることは可能でしょうか。	申し訳ありませんが、原則、事務所の会議室やコピー機はお貸ししておりません。
15	21	経費積算に係る留意事項	ジブチの案件では、宿泊ホテルはJICAが指定しているものに限り、見積もりの宿泊単価が指定されることがあると聞いていますが、今回はジブチ、オボックの両方において、そのような指定はありますか。	宿泊は安全対策上、事務所のリストにあるホテルに限定していますが、選択肢は複数あり、金額も単価内におさまります。

以上